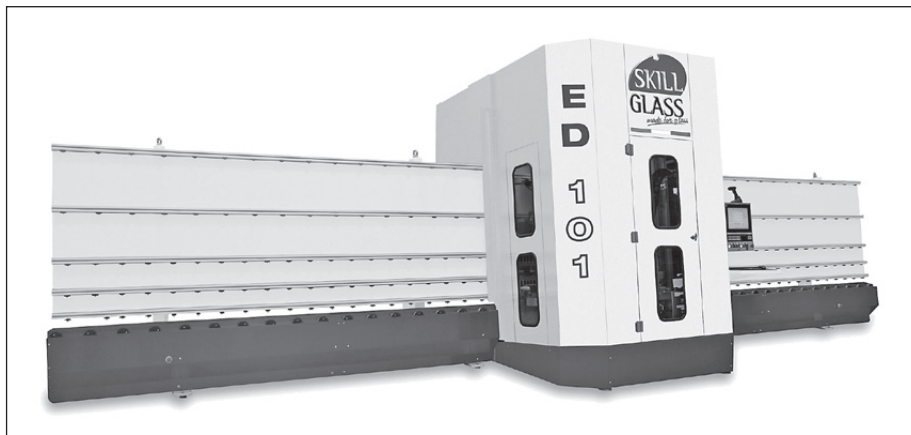


TGM

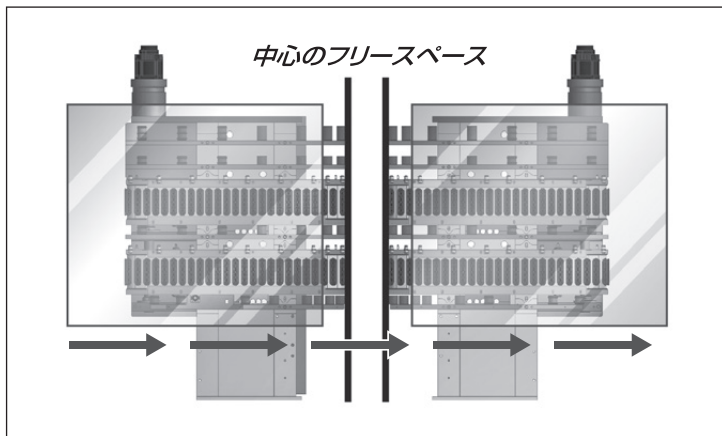
1台で各種加工に対応

縦型加工機 国内導入進む

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長 03・62661・1260)は、イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D101」シリーズを販売している。スキルグラス社は縦型加工機に特化した設備メーカーで、穴開け機、ミリング加工機などをさまざまな製品をラインアップする。「SKILL E-D101」シリーズは、加工のタイムロスを削減する搬送・加工方式を採用した縦型のCNC加工機で、穴開け、ミリング、外周加工を1台で対応可能。工場スペースに限りがある日本で縦型加工機の需要が高まっており、国内への導入が進んでいる。



イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D101」シリーズ



加工のタイムロスを削減する独自の搬送システムを採用している

「SKILL E-D101」シリーズは、穴開け、ミリング、外周加工などの複数のプロセスを1台の装置に集約した縦型のCNC加工機。水平方向の外周加工が可能で、10mm程度のスピンを2軸備え、他社製と比べて高い生産性を誇る。

る。サクシヨンカップがガラスを板載せ・下ろしエリアへ搬送する従来の一般的な搬送方式とは異なり、独自のサクシヨンベルト形式での搬送システムを構築。ガラスの連続投入が可能となり、加工が終わったガラスを下す間の待ち時間を短縮できるので、タイムロスを削減する。

入り口・出口のサクシヨンベルトがそれぞれ中心にフリースペースを持つように配置されており、他社製では穴開け・ミリング加工が難しいガラスサイズでも加工が可能。一般的なサクシヨンカップでは加工中に水が当たるため経年劣化が激しいが、サクシヨンベルト方式は耐久性が高く、加工品質を維持できる。

近年、工場スペースに限りがある日本で、平型よりも省スペースとなる縦型加工機の需要が高まっている。自動化の観点からも検討が進んでおり、国内の引き合いや導入事例が増加しているという。

加工可能なガラスサイズは、最小600×300mm、最大は3000×2000mm、4500×2600mmの2タイプ。

いずれも板厚は4〜20mmに対応。通常のガラスの他、異形や合わせガラスにも対応する。

スキルグラス社は1999年創業。競合メーカーが平型・縦型の加工設備をどちらも製造販売する中、縦型加工機に特化して製造・販売。縦型穴開け・ミリング専用の「DRILL1600」シリーズ、縦型外周加工専用の「SKILL S-FILL」シリーズなどもラインアップする。